

K-52

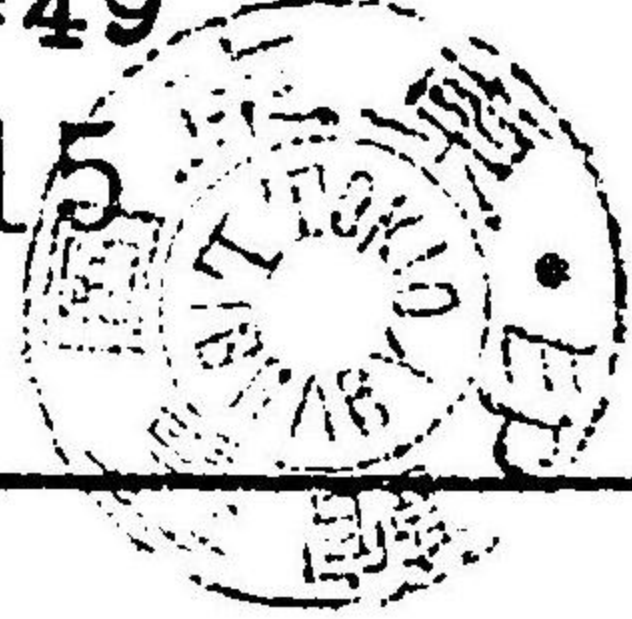
4

9/21

愛は最上の賜なり

№17810/22

特49
815



(一)

愛は最上の賜なり

博士 ヘンリー・ドラモンド述

仁田桂次郎譯



最上の善は何ぞや
愛は信に優る
愛は神の法律を履行するものなり

吾人最上の賜は何ぞや吾人の願望せる最上の目的は何ぞや吾人の嗜欲せる最高の賜は何ぞや世人屢ば曰ふ宗教上の最大切なるものは信仰なりと是れ數百年間基督教の要領たり然れども是れ誤れり吾人之を教へらるゝも是れ誤謬を教へられたるなり請ふ今哥林多前書十三章を一覽せよ此の一章は實に基督教の根本たるものなり此の章に云はずや「このうちもつともこれほいなるものは愛なり」と是れは著者パウロの過失ならずパ

(二)

ウロは其の少こしき前に信仰を論じけるが忽ちいわく山をう
つすほどなるすべての信仰ありといへどももし愛なくばか
ふるにたらぬものなりと是れ僻説にもあらず人は兎角己れの
特所を他人に勧むるものなれどもパウロの特所偏僻は愛にあ
らず反て其の初めは殺氣天を衝き基督教徒を逆殺し雙手窓死
者の血を以て汚れり然れども其の年齢の長ずるに従ひ漸く愛
の成熟するを見るなり其の老ると共に増す愛の旺盛するを知
るなり抑も愛を以て吾人最上の賜なりと爲すものは獨りパウ
ロのみにあらず「ペテロ」「ヨハ子」も亦た之に同意なり則ち「ペテ
ロ」の言に曰く就中汝等の中に熱心なる愛を持ってよと「ヨハ子」ハ
百尺竿頭更に一步を進めて曰く神の愛なりと基督自らも亦た
曰く愛は法律を履行するものなりと基督の此の教の意味ハ何
ぞや當時ハ人皆十誡と十誡より造れる他の一百十誡を守て

(三)

以て天國に入らんと欲せり基督は此の時に生れ世人に教て曰
く汝に捷徑を告げん汝若し愛をだに行へ此等の一百十誡は期
せずして自ら行へんと例へば若し神を愛せむ期せずして自ら
眞神より他の神を持たざるべし神の名を漫に稱せざるべし安
息日をも亦た記憶せん苟も神を愛せば神の事を沈潜思考する
爲めに七日に一日を得るとをば最も樂で措くとあたはじ愛あ
らば豈に人より此等の事を命ぜらるゝを要せんや又た若し人
を愛せんか自ら父母を敬せん自ら人を殺さじ自ら盗まじ盜む
よりは寧ろ己れの所有物をも人に與へんと欲すべし自ら人を
欺かじ自ら人の物を貪らじ故に愛は神の法律を履行するもの
なり

愛を比較分解説明す

哥林多前書十三章ハ愛を説明すると至れり盡せり今ま之を三

段落に分ち見るに上段の愛を比較し中段は愛を分解し下段は愛を説明するものなり

愛を比較す

右章の上段は愛を當時の人が最も貴重せる所の他物と比較す能辨へ人の好む所にして其の人心を感動し人意を左右する功偉大なり然れども此こふ之を愛と比べてたどひ我れ諸人のことを及び天使のことばを語るとももし愛なくば鳴銅や響鉄の如しと云へり又た預言も興義も信仰も皆な愛に若かざるを示す慈善も亦た愛に若かず信仰の愛を得るの手段たるのみなれば愛に若かざると明なり蓋し信仰の人を神と接續する爲めのものなれば神の愛なる以上へ信仰は愛に至るの手段たるのみ則ち愛は目的にして信仰は手段なり手段の目的より劣れるものなり又た乞食に二十錢を與ふるは慈善とは云へ必ずしも愛

(四)

(五)

なりとは言ひ難し之を與へたる爲めに乞食に害を致すやも知れず愛あれば慈善を取捨すべし故に愛の慈善の上に在り義の爲めに身を犠牲とするも愛なくば寸益なし萬里傳道して遠く絶域不毛の地に入り或は屠戮焚殺され或は瘴厲疫毒に死するも愛なくば寸益なし支那語印度語を以て傳道するは其の語を學ぶに三四年を要すべきも愛を以て傳道せを即日効あらん人間誰れも愛に感ぜぬものならず愛の感化力は如何なる能辨にも優るなり縦ひ言語通せずとも人の愛を曉り得ぬものならずアフリカ人がリボングストン氏の恩に感じ忘るゝあたはざるも全く其の言語を解せしにあらざして只だ其の愛に感じたるなり故に人は愛さへあれば人心を懐け人心を感じ何事も旨く成就せん愛に優るものなむ節に死するも愛なくば非なり

愛を分解す

愛ハ複合體なり大陽の光線が三角がらすを通りて七色に分る
 如く愛も亦たパウロの智力を通りて九原素に分れり則ち
 忍耐親切寛大謙遜禮儀無私不怒不猜誠實の九徳是れなり愛は
 忍ぶことを爲し又た人の益を計るなり愛ハ嫉まず誇らず高ぶ
 らず非禮を行はず己れの利を求めず輕しく怒からず人の惡き
 を念はず不義を喜はず眞理を喜と云へる本文は則ち此の九徳
 を示すものなり是れは六ヶ敷事にあらずして誰れにても心掛
 けさへすれば出来るとなり愛なる吾人最上の賜は之を行ひさ
 へすれば得らるるものなり

愛を説明す(愛の定義)

愛は右九徳に分かるゝがさて右九徳を説明すれば
 忍耐 とは受けみの愛にて事を初むるを待つ急がず怒らず

粗忽ならず靜なり落着きたり杯を稱するの名なり則ち仕度を
 爲して穩に事を初むるを待つとなり

親切 とハ働き掛けの愛にて人の爲めをするとなり基督ハ
 生涯人を幸福に爲すに盡力せり親切にさへすれば世人に幸
 福を與ふるを難からず

寛大 とハ人と競はず同業者を嫉まざるなり嫉は惡念なれ
 ば最も卑むべきものなり之を斷つには寛大にならざるべから
 ず何人にてても必ず同業同功の者を忌むの僻あり故に宜しく寛
 大に志すべし

謙遜 とハ人に親切を行ふて之を言はず人に益を爲して之
 を顯さざるなり人を利し人を益すれを動もすれを誇らんとす
 るが故に宜しく謙遜を學ぶべし

禮儀 とハ交際上の愛なり他人に向ひ應對進退舉止言行皆

な節文其の宜しきを得るなり心に愛さへあれバ田舎者にてても
 都會へ往き醜き言行はせまじきなりカール氏曰く詩人「ポ
 ルン」氏は田舎漢なれども愛心ある故に何なる交際をなすも恥
 しからず歐洲第一の禮儀あるものなりと
 無私 とハ私利を求めず我物さへも人に施し與ふるとなり
 英米人の如き己れの所有權に熱心なる人民さへも屢ば巨萬の
 金を投じて傳道を資くるハ是れ私なきなり數年の間丹精して
 蓄へたる金をも人に與ふるを樂むハ聖書の教ゆる所なり
 不怒 とハ短氣ならざるなり短氣は大惡事なり是れ心の根
 底に惡念あるが故に外部へ發表するものなり何に德行ありと
 も短氣ならを天國へ入るとあたハじ若し入らば天國を地獄の
 如くならしめん是れ不謙遜と不仁と私心とより生ずるなれば
 其の原因たる心底の惡念を去ると必要なり若し愛さへ養はば

惡念自ら去り憤怒自ら止まん
 不猜 とハ邪猜をなさず人を信じ人に任じ心を推して腹に
 置くとなり是れハ猜忌心ある人に對症の教なり人を信任せば
 自ら人心を收攬せん故に人を信任するは實に基督教の奧義に
 して處世の機密なり
 誠實 とは正直にして虚飾せず眞を喜び偽を嫌ふとなり區
 々たる宗派を主張せずして一般全體の眞理を喜ぶが如きは則
 ち是れなり
 愛を得るの方法
 愛は閑居幽棲して得べきものにあらず必や之を得るの方法に
 因らざるべからず隱遁栖遲して之を生ずべきにあらず宜しく
 人間社會に往き人と交り之を實驗すべきなり何事も實驗せざ
 れば成熟せず肉體も運動すれば強壯に成ると同じく愛も亦た

世間に出で實際之を経験し切礎琢磨の勞を積まば必ず旺盛せんゴエテ曰く才能は靜なる所に發生し性質ハ喧しき所に發生す。と祈禱信仰の如き才能は閑所にて發生すべきも愛ハ人と交り之を實行するに因て得らるるものなり

愛ハ基督と交るに因て得らるべし
今ま試に鐵の一片をエレキの掛かれる物躰へ接せば「エレキ」は忽ち鐵片へ移り鐵片は「エレキ」に感じ之を受け他の物躰を引き付くべし故に鐵片ハ「エレキ」躰と接する間ハ自らも「エレキ」躰たるものなりされば愛も亦た然り吾人が基督と接する間は基督の愛吾人に移り吾人も亦た愛と成り他人を引き付くべし愛の引力は絶大の勢力にして必ず他へ傳へ通せん吾人は基督の愛を觀其の十字架上に辱死せしを思へば愛せざらんと欲するも得べからず愛は愛を生ずるものにして基督の愛吾人に愛を生

ずるなり宗教上の法則は物理に於けると以て異なることなけれを愛は偶然に得べきふあらず必ず其の原因なかるべからず其の源因は則ち基督なり

愛は永遠不窮の所有物なり
文明なる亞善も強武なる羅馬も既に滅亡せり嘗て盛大なりし印度埃及波西亞の遺業今ま焉か存在梵語希臘語羅甸語も亦た亡びたり之を語るものは唯だ語學專門者あるのみ「プラトニーア」リスト「トル」の遺書も今ハ只だ參考として一二大家が讀むあるのみ五尺の童子も「ペーコン」の知識に優れ十歳の生徒も「ニュートン」の學術に勝る故に「ペーコン」「ニュートン」の學も亦た亡びたりと謂ふべし獨り是れのみならず天地萬物皆な消滅するの時あり日月星辰豈に長へに存せんや此の興廢存亡の中に立て萬古渝らざるものハ夫れ只だ愛なるか望も信仰も實際天國に

至り靚面天父に會は最早亡びて後に永遠存在するもの、只た愛のみならん廿年前の學術書、今へ見るもの稀れなり、然らば廿年前の學術は已に亡びたるなり、此く國家の存亡言語の隆替、文書の興廢學術の盛衰、宇宙萬象の變遷推移ある中に、只た愛のみが不朽なれ

愛と生命との關係

愛は生命なり、吾人愛する人も愛せらるゝ人もなくば生きるとあたはず、生き甲斐もなく、忽ち死すべし、人の生きたしと思ふは親戚朋友を愛し愛せらるればなり、若し愛するものなくば何の爲めにか生きるを欲せん、愛するに人なき時、犬鼠をさへも愛して、其れを樂みに生きるなり、若し犬鼠さへもなくば最早生き甲斐なければ自殺すべし、愛は生命にて、生命は愛なり、愛なくば何で生きることを得ん、愛さへあらば其の間、決して生命の亡

ぶるとあらじ

讀者よ、試に右十三章を爾來三ヶ月間、毎週一度つゝ熟讀し、而して後三ヶ月間、毎月一度つゝ熟讀し、玉へ或人之を行ひしに、其の人物一變して、全く別人の如くなりたり、諸君豈に之をなすに意なきや、初の一週間、毎日一度熟讀せば、更に善るし、特に右章の中段を玩味すべし、然かすれば、吾人最大の福、最上の賜たる愛を享ると難からず

K-52

明治廿二年六月十一日印刷
明治廿二年六月十三日出版

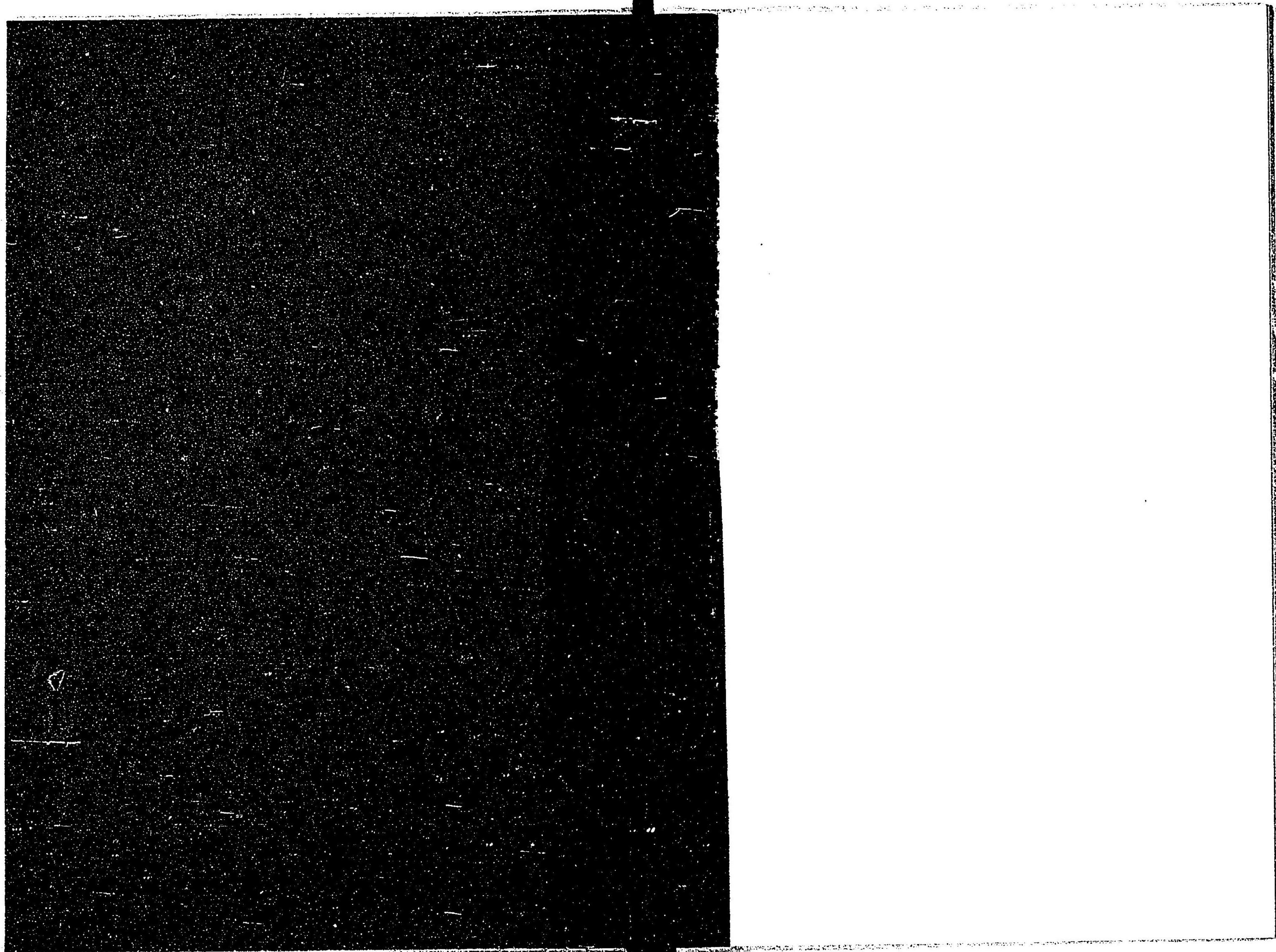
發行者兼

仁田桂次郎

東京芝區二本復町
二丁目四十二番地

印刷者 廣瀨安七

東京日本橋區兜町
壹番地製紙分社



9
5

愛は最上の賜なり

ヘンリー・ドラモンド

国立国会図書館

020206-000-0

特49-815

愛は最上の賜なり

ヘンリー・ドラモンド/述

M22

ABI-0005



特

81